

### 自己評価票

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                               |
|--------------------|--|---|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |  |   |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |  |   |  |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている   | 改めて地域密着型サービスの意義を職員同士で話し合い、これまで掲げていた理念を見直し、独自の理念を作成した。                             |  |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる  | ホーム内に理念を掲げ、申し送り時には確認し合い、ケアに反映出来るよう日々取り組んでいる。                                      |  |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる   | ホーム玄関先には明示し、月1回のホーム便りへは記載されているが、パンフレット等へは明示しておらず、浸透するまでには至っていない。地域の方々への働きかけもまだない。 | ○<br>今後は家族や地域の方へ運営推進会議や、面会、見学を通してパンフレットを配ったり、説明していきたい。       |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |  |   |  |
| 4                  | ○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | 近隣の方とは野菜をおすそ分けしたり、近くの保育園の慰問、ボランティアの歌会など、交流の場は増えつつもあるも、地域住民との交流は乏しく、関係作りには至っていない。  | ○<br>町会への加入、ホーム見学の受け入れ、交流の場の提供、町会活動への参加等を通しなじみの関係作りを築いていきたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |  |
|-----|--|--|---------------------------------|--|
| 5   | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる  | 全職員で自己評価に取り組み、サービス評価の意義や目的を確認し合ってる。外部評価の結果を踏まえ、改善すべき点を改めて確認し質の向上につなげている。 | ○                               | 除々にではあるが改善しつつあり、今後も全職員で確認、ケアに取り組みたい。               |
| 6   | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている  | ホームの状況報告が多く、地域との情報交換、意見交換など運営推進会議の良さ、目的は繁栄されていない。                        | ○                               | 会議の内容について検討し、より多くの人への会議参加を呼びかけて行き、積極的な意見交換、交流を目指す。 |
| 7   | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | まだまだわからない点、疑問点が多い為、ホーム側から積極的に電話や市役所へ出向いたりし、相談助言を頂いている。                   |                                 |  |
| 8   | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している  | 地域福祉権利擁護事業を活用している方が1名おられるも、全職員には浸透しておらず、その制度についての理解はしていない。               | ○                               | 研修会を開き学んで行きたい。                                     |
| 9   | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている   | 虐待について内部研修を行ったり、虐待に関するファイルを作成し虐待防止に努めている。                                |                                 |  |

| 項 目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                           |
|------------------------|---|---|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |   |  |
| 10                     | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている            | 契約する際、重要事項や退居を含めたホーム内での対応など詳しく説明し同意を得ている。   |  |
| 11                     | ○運営に関する利用者意見の反映<br><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 利用者の意見については、相談苦情簿に記入し、定期的に話し合い、ケアの統一に努めている。   |  |
| 12                     | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている         | 面会時や電話での定期的な近況報告をしている。金銭管理に関しては、個人の出納帳を作成し、毎月領収書のコピーと内訳をホーム便りと一緒に送付しており、面会時には確認印もお願いしている。 |  |
| 13                     | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 要望箱を設置する以外では、面会時や入居者の方との普段からの関わり合いの中で意見や苦情を話してもらうよう声かけしている。相談苦情簿を作成し、対応の経過た質の向上に努めている。    | ○<br><br>今後は、外部者へ意見を表せる機会作りとして、今一度説明したり、ホーム便りを利用し掲示していきたい。 |
| 14                     | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                       | ミニユケーション以外でも定期的なミーティング、勉強会などで意見交換し、ケアに反映出来るよう心がけている。                                      |  |
| 15                     | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 重度な利用者が多く、急変や受診が多く、ゆとりのあるケアが行えていない時もある。   | ○<br><br>経営者と話し合いを定期的に設け、職員の確保、業務内容の見直しをしていきたい。            |

| 項 目                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                             |
|--------------------|---|------------------------|--|
| 16                 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> |                        |  |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |   |                        |  |
| 17                 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              | ○                      | 定期的な研修を心がけているが、多忙時や職員手薄時等で行われていない時もある為、段階的な研修会を開けるようにしていきたい。 |
| 18                 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    | ○                      | 今後は、他グループホームへの見学や研修会などを通して、交流を深め、サービスの質の向上に努めていきたい。          |
| 19                 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                    | ○                      | 今後は、他グループホームへの意見や経験をケアに活かす上でも、研修会や親睦会を開いていきたい。               |
| 20                 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           |                        |  |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|---------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |  |   |                                 |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |                                 |
| 21                               | ○初期に築く本人、家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 管理者と職員が、入居希望者や家族と面談を行うなどの情報収集を行った上で、十分に話し合い、受け止める努力をしている。             |                                 |
| 22                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている               | 相談時、本人や家族の思い、状況等確認した上で見合ったサービスが利用できるよう支援しており、必要に応じて他事業者への紹介も行っている。    |                                 |
| 23                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している    | 入居する前に可能な方は、ホームを見学してもらったり、事前に生活背景などを調査し、不快なく安心してサービスを利用できるよう努めている。    |                                 |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |   |                                 |
| 24                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている       | 常に職員へは、入居者の方々への言葉づかい、関係作りについて留意した上で、お互いが協働しながら和やかに生活が出来るよう、日々取り組んでいる。 |                                 |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 25  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | ご家族へは面会があった際は近況報告したり、遠方の方やなかなか面会に来られない方には、電話での報告等を通し適度な距離感を保っている。                      |                        |                                 |
| 26  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 月1回のホーム便りの配布、夏祭り等の行事参加のお願い、外泊外出の推進などに取り組む、本人と家族のよりよい関係作りに努めている。                        |                        |                                 |
| 27  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 現在、家族の協力もあり、月1回程度行きつけの美容室に通っている女性入居者がいる。それ以外でも、なじみの場所や人とのつながりに配慮し、一人ひとりの生活習慣を尊重していきたい。 | ○                      | なじみの場所や人などを調べ、関係継続の支援に努めたい。     |
| 28  | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | ホールにはテーブル、椅子の空間以外にも畳の空間もあり、個々の気分や利用者同士の関係に合わせて座る位置等かえている。                              |                        |                                 |
| 29  | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | サービスが終了すると、その後の付き合いはほとんどないのが現状である。   | ○                      |                                 |

| 項 目                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|--|----------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |  |                                  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |  |                                  |
| 30                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日々のコミュニケーション以外でも、行動や表情からくみ取り把握に努めている。把握した内容は、家族や職員間で時には検討し、本人の意向や希望になるべく添えるよう努力している。     |                                  |
| 31                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 入居時には、生活歴や生活環境等を記載した情報用紙を全職員へ申し送りを通し把握している。家族の面会時や、本人からの聞き取り等も行い、把握に努めている。               |                                  |
| 32                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 家族や本人から一日の過ごし方等、入居した際なるべく聞き取り、早々と生活パターンを把握する事で、過ごしやすい環境の提供作りに心がけている。                     |                                  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |  |                                  |
| 33                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 入居者の日々の会話等から要望を把握したり、面会時に家族の意見を聞いたりしながら、それを踏まえた上で職員との意見交換し、介護計画を作成している。又、家族に説明し、同意を得ている。 |                                  |
| 34                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 職員が情報を確認し、家族や本人の要望を取り入れつつ見直している。状態変化があった場合、家族、本人の要望に応じて見直しも行っている。                        |                                  |

| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                               |
|------------------------------------|--|--|------------------------|--|
| 35                                 | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 一人ひとりの日々の様子を昼夜を通して詳細に記録している。介護計画も一緒にファイルにとじており、計画内容を踏まえた記載を心がけている。申し送りも、朝夕、3ユニットで行っており、それ以外でも伝達ノートを作成し、情報共有に努めている。 | ○                      | 目印や赤ペンで記入するといった、急変時にはわかりやすくしたい。                                |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |  |                        |  |
| 36                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | 本人、家族の状況に応じて、外泊支援や送迎を行っている。  |                        |  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |  |                        |  |
| 37                                 | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 警察、消防署、近隣スーパー等にはパンフレットを配布し、ホームを知ってもらっている。随時ボランティアの受け入れ、協力を呼びかけ、行事にも参加してもらっている。                                     |                        |  |
| 38                                 | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 他のサービスを利用している方はいないものの、そういった意向や必要性があれば順応していきたい。   |                        |  |
| 39                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 他ユニットに使用している方がいるが、全職員が把握しているとはいいがたい。運営推進会議へ地域包括センターの職員参加がまだなく、協力関係がまだ出来ていない。困難事例に関しては市役所へ相談、助言を頂いている。              | ○                      | 地域権利事業の事業内容、目的等を全職員が研修を通して把握していく。運営推進会議への参加を促し、今後は関係作りをしていきたい。 |



| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|-----|--|------------------------|----------------------------------|
| 40  | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>   |                        |                                  |
| 41  | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  |                        |                                  |
| 42  | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   |                        |                                  |
| 43  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      |                        |                                  |
| 44  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   |                        |                                  |
| 45  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | ○                      | 内部研修、資料などで終末期にむけたチームケアをしていく必要あり。 |

| 項目                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                  |
|-------------------------------------|---|--------------------|---|
| 46                                  | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | ○                  | 本人や、友人等の面会の際把握していく。記録として残す上でもアセスメント表を上手く活用していきたい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>    |   |                    |   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>              |   |                    |   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                  |   |                    |   |
| 47                                  | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                                       | ○                  | 慣れ合いにならないような声かけ、対応の工夫をしていきたい。                     |
| 48                                  | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>                   |                    |   |
| 49                                  | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>                        | ○                  | 受診や重度な方も多いため、業務内容や人員配置の見直しをしていく。                  |
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |   |                    |   |
| 50                                  | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                                    |                    |   |

| 項 目                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|---|------------------------|---------------------------------|
| 51                                  | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> |                        |                                 |
| 52                                  | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>              |                        |                                 |
| 53                                  | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>          |                        |                                 |
| 54                                  | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>      |                        |                                 |
| 55                                  | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                       |                        |                                 |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |   |                        |                                 |
| 56                                  | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>    |                        |                                 |


| 項 目                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                        |
|-----------------------|--|------------------------|---|
| 57                    | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>         |                        |   |
| 58                    | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                           |                        |   |
| 59                    | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>        |                        |   |
| 60                    | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                  |                        |   |
| 61                    | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>                   |                        |   |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |  |                        |   |
| 62                    | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | ○                      | <p>日々の業務で身体拘束はないか、見落とししていることはないか、確認する機会を定期的に設けたい。</p> |

| 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|--|---|------------------------|---|
| 63<br>○鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる     | 基本的には鍵をかけずにいるものの、建物の構造上視界となっており、職員が手薄、安全確保のため、やむを得ずかけている時もある。   | ○                      | 様々な工夫をし、鍵をかけないケアを実践していきけるよう職員同士で意見交換をしていく。                              |
| 64<br>○利用者の安全確認<br><br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している              | 職員は台所、ホールで作業をしながら状況を把握しているものの、二階もあるため、定期的な見回り、人数の確認をしている。夜間は安全確保のため安全棒を使用しており、物音等したらすぐに対応出来る体制になっている。 |                        |   |
| 65<br>○注意の必要な物品の保管・管理<br><br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている        | 刃物は使用后、決められた場所、鍵のついたケースにしまうことになっている。洗剤も同様である。   |                        |   |
| 66<br>○事故防止のための取り組み<br><br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる     | 事故発生時には報告書を提出してもらい、定期的な会議の中で事故報告、再発防止について話し合い、全職員が把握出来る体制にしている。                                       | ○                      | 現在、ヒヤリハットの用紙は作成しておらず、事故報告書として一つにまとめている為、今後は未然に防ぐ意味でもヒヤリハットの用紙も作成していきたい。 |
| 67<br>○急変や事故発生時の備え<br><br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている               | 消防署で催している救急救命の研修は受講し、内部研修を行っているものの、時間の経過に伴い、全職員が周知しているとは言いがたい。  | ○                      | 定期的に研修を行い、身につけていきたい。  |
| 68<br>○災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回、避難訓練や消火器の取扱等確認している。   | ○                      | 避難訓練は日中の職員が多いときに実施しており、夜間や人手の少ない時を想定しての実施も今後必要と思われる。                    |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|--|----------------------------------|
| 69                               | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> | <p>入居時に、日常生活の作業について家族に説明し理解を得ており、危険であるという意識を少しでも取り除けるよう努めている。</p>                              |                                  |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |   |  |                                  |
| 70                               | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>           | <p>申し送りやケアノートで日々の体調の変化には認識した上でケアにあたっており、又、変化時は口答での申し送りだけでなく、記録やノートに記入し情報を共有、必要に応じて受診等している。</p> |                                  |
| 71                               | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>       | <p>薬の用法に関しては、個人記録に処方箋をファイルしており、いつでも内容を把握出来る体制をとっている。薬箱を使用し、必ず二人体制で確認し、飲み忘れ、誤薬がないようにしている。</p>   |                                  |
| 72                               | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>         | <p>個々の排泄パターンを把握した上で、運動を促したり、食品に工夫をこらして自然な状態での排泄を促している。慢性的な便秘の方には医師と薬剤の調整をしている。</p>             |                                  |
| 73                               | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>                   | <p>朝夕2回の口腔ケアを実施、介助している。自歯がある方が多い為、歯磨き粉、歯ブラシを個々にあわせて調整したり、必要に応じて歯科医師の助言や往診も行っている。</p>           |                                  |
| 74                               | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>      | <p>栄養士が献立を作成し、栄養バランスには配慮されている。個々の一日の排尿回数、量等に応じて水分量の加減をしたり、栄養管理に努めている。</p>                      |                                  |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|--------------------------------|---|--|------------------------|--|
| 75                             | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | 感染症に対するマニュアルは作成されているが、定期的な研修は行っておらず、認識が薄い。流行するものに関しては、申し送りで注意し、早期対応に努めている。家族にもホーム便りを通してお知らせしている。 | ○                      | 感染症に関する研修会を増やす以外にも、流行するものに関しては流行の前から予防、取り決めに徹底し、未然に防ぐ。 |
| 76                             | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 清潔保持のためのマニュアルは作成しており、日々実行している。食材は栄養士によって献立が作成され、毎日届けられるので新鮮、安全である。                               |                        |  |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |  |                        |  |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |  |                        |  |
| 77                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関周りには植物等を飾り、生活感を出している。出入りした事を見逃さない為にも入り口ドアに風鈴を設置し、音色で気がつけるよう工夫している。」                            |                        |  |
| 78                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 日々の入居者、職員間のコミュニケーションの中で、意見や要望を取り入れ、」居心地よく過ごせるよう配置を変えたり工夫している。                                    | ○                      | 生活感が引き出せるよう、なじみの物を飾り付けたり、取り入れたい。                       |
| 79                             | ○共用空間における居場所づくり<br><br>共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 共用空間であるホールには、テーブルの他に畳も設置しており、畳での生活を気にいっている方もいる。思い思いに好きな方を活用している。他棟に友人を訪ね、頻繁に行き来している方もいる。         | ○                      | AC棟をつなぐ渡り廊下の空間を上手く活用し、お互いに気軽に行き来出来る環境作りをしていきたい。        |

| 項 目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|------------------------|---------------------------------|
| 80                            | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> |                        |                                 |
| 81                            | <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>       |                        |                                 |
| <b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |                        |                                 |
| 82                            | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                |                        |                                 |
| 83                            | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                          |                        |                                 |
| 84                            | <p>○建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>  |                        |                                 |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| V. サービスの成果に関する項目 |  |   |
|------------------|--|---|
| 項 目              |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
| 85               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○ ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 86               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                  |
| 87               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 88               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 89               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 90               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 91               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 92               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどできていない    |
| 93               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ○ ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)   |
|-----|---|---|
| 94  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている<br><input type="radio"/> ②少しずつ増えている<br><input type="radio"/> ③あまり増えていない<br><input type="radio"/> ④全くいない           |
| 95  | 職員は、生き活きと働けている  | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが<br><input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない       |
| 96  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 97  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが<br><input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームの本来あるべき姿を目指し、入居者主体の第2の我が家とさせていただけるよう、お互い助け合い認め合い共生できるよう日々職員と話し合いそれに向けて努力しています。